

# デジタル画像の整理方法

＜無料ソフトを使った当医院での画像整理方法のご紹介＞

## 目次

1. はじめに...
2. デジタル画像の整理のための準備
3. 撮影画像の無料整理用ソフトのダウンロード（『Picasa』）
4. 撮影画像のインポート（デジカメ→パソコン）
5. 画像の整理（『Picasa』を使った画像整理）
6. プレゼン資料等の作成（『PowerPoint』等）
7. 終わりに...

2010/07

SEKI DENTAL ORTHODONTIC CLINIC

# デジタル画像の整理方法

＜無料ソフトを使った当医院での画像整理方法のご紹介＞

## 1. はじめに...

デジタル画像の整理用ソフトは種類も多く無料のものから高価なものまでさまざまなものが使われているのが現状です。

Mac. などとはもとパソコン内に画像の整理ソフトの i-Photo が入っています。

Mac. のユーザーはこれらのソフトに関しては日常的に使用している人が多いのではないのでしょうか？

写真や音楽、動画などは今や全てデジタル化して簡単に編集、整理、保存ができます。

個人ユースからプロユースまで、デジタル画像の整理用ソフトの種類は豊富です。

値段も様々で、無料のパソコンに入っている無料のものから、高価な画像管理ソフトまでさまざまなものがあるのが現状です。

お金をかけて高価なソフトを購入するのも良いですが、今回ご紹介しようと考えているものは、無料のダウンロードソフトです。

昔、銀塩写真を写真屋に持ち込み1週間位かかってスライドにしてもらい、スライド用のドラムに入れ、プロジェクターで投影して発表していたころがとても懐かしく思います。

しかし時代の流れはアナログからデジタルです。この流れはもう変わりようがありません。

流れが変わらないのならば、**デジタルの潮流**に乗るしかありません。



スライド



スライド

最近、色々な先生方から

●「画像の名前はどのようにつけて保存したらよいのか...?」、

●「写真を撮ったのはいいけれどその後の整理が面倒だ...」、

●「PCに取り込んだ後の写真の整理のしかたがよくわからない...」、

●「PowerPoint でスライドを作りたいけど、画像を読み込めるのが大変...」

などといった質問をよく受けるようになりました。

日々の診療に追われている諸先生方には、  
「診療時間以外、資料の整理等に時間を割かれるのは勘弁願いたい...」というのが本音ではないでしょうか？

治療だけが仕事ではないのも十分理解できます。

歯科医師会、三師会、スタディグループや研究会での発表、論文の作成、後輩の指導、地域の保健活動や講演等々、本来の仕事以外で割かれる時間は少なくありません。

従って、スタッフの協力なくしては**撮影画像の整理は難しい**かもしれません。

症例写真の整理は、できる限りスタッフにも手伝っていただけると非常に楽になります。

**当医院では、撮影したデジタル写真の整理までは全てスタッフが行ってくれます。**

プレゼン資料の作成のみを、発表当事者である院長が手のあいたときに行えば、時間の配分はストレス無く行えます。

はじめはなかなかうまくいきませんでした  
が、今はスタッフの方が手際良く撮影データ（デジタル写真）をうまく整理してくれています。



「プレゼン手順でこのようなデータが欲しい」

「ワードデータをPDFファイルに変換して欲しい」等、

希望を伝えると仕事の合間にスタッフが全て行ってくれます。

これから、画像の整理を行おうとされている先生方も、できればスタッフと一緒に作業ができるよう日常診療のルーティンワークを工夫されるとよいと思います。

Mac. のパソコンをお使いの先生は i-Photo を使って画像を整理しているのではないのでしょうか？

音楽ならきっと i-Tunes を使ってらっしゃるでしょう。

動画は i-Movie をお使いではないでしょうか？

H P 作成は i-Web をお使いかもしれません。

最近 i-Pad が発売され、今後アップル社 Mac. の巻き返しは必至の様相です。

Mac. は昔から直観的に作業ができるようなソフトが多く提供されています。医療関係者やデザイン関係者の Mac. ユーザーが多いのはそのためです。

私自身、あまりコンピューターに詳しいわけではありませんが、今回ご要望の多さに一念発起し、**私どもの医院で行っている症例写真の記録方法についてご紹介**したいと考えました。

私は普段プライベートでは Mac. を使っていますが、**今回は Windows パソコンでの画像整理の方法をご紹介**いたします。

Windows パソコンでの画像整理がきちんとできていれば、加工データを Mac. の i-Pad を利用してスタイリッシュにプレゼンも可能です。

Mac. の i-Tunes や i-Photo 、 i-Movie など  
はとてもよくできたソフトで、直感的に使  
えます。PhotoShop 等はやはり Mac. が慣れ  
ているため、使いやすい Mac. のパソコンで  
作業します。

ただ、医院での画像資料の整理や、学会発  
表の資料、ホームページの作成（ホームペ  
ージビルダー等）は Windows のコンピュー  
ターで作業します。

理由は学会発表等では Windows 使用が多い  
ためということが一つです。

ただ、別に Mac. でも発表に関しては、何ら  
問題はありません。

Mac. 派の先生方はいまだ多く存在します。

2つ目の理由は友人の S E（システムエンジ  
ニア）がやはり Windows を使用しているた  
めです。SE はやはり Windows のようです。

3つ目の理由は Windows のコンピューター  
は 2nd. 、 3rd. ユースの安くて軽いパソコ  
ンがあるためです。現在持ち運び用のパソ  
コンは acer（エーサー）という会社の B5 タ  
イプのものを使っております。購入価格は  
約 ¥40,000-でした。Windows7 仕様でメモ  
リも十分に軽くて動作も軽快です。



出先に持参して時間のあるときに文章を書  
く事が楽にできます。

データの加工、整理用、モバイル用、会社  
用、自宅用等用途に応じてパソコンを使い  
分けると結構楽なのです。データーは共有  
して使い分ければいいのです。

最近では、アップル社から話題の i-Pad が  
発売され、用途によっては非常に使いやす  
いのではないかと感じています。



学会発表だけなら i-Pad で十分なのではな  
いでしょうか？

スタイリッシュですし、軽量でとても魅力  
的に感じます。本来のパソコン用途を超え  
た使用方法があると感じています。

整理も加工もプレゼンも、インターネット  
もメールもDVDへの記録もデータの保存  
も...と、全てを1台のパソコンでやろうと  
すること自体無理があるのです。

複数のパソコンを用途に応じた使い方をす  
れば、かえって無駄が省けて安上がりとな  
ることが多いのです。

前置きが長くなりましたが、Windows パソコ  
ンを使用した当院で行っている症例画像整  
理の方法の一つをご紹介します。

できるだけお金をかけずに Windows パソコ  
ンで、うまく画像を整理できる方法です。

もっと上手に画像を整理している先生方も多くいらっしゃると思いますが、そんな先生方は「こんな方法もあります...」ということで読み飛ばしてください。

画像整理の方法は一つではありません。

自分のやりやすいようにルーティン化しておくで大変便利です。

是非、ご参考にしてみてくださいと思います。

## 2. デジタル画像の整理のための準備

### ①デジタルカメラ（できればデジタル一眼レフカメラ／Canon EOS KISS）



### ③画像バックアップ用ハードディスク（Buffalo）



### ②コンピューター（Windows PC）



### ④画像転送及び整理用ソフト（無料ダウンロード）

以上のものが準備できましたら撮影画像の整理は可能です。

ただ、口腔内をきれいに撮影するためには通常のデジタルカメラのほかに以下のものがようになります。

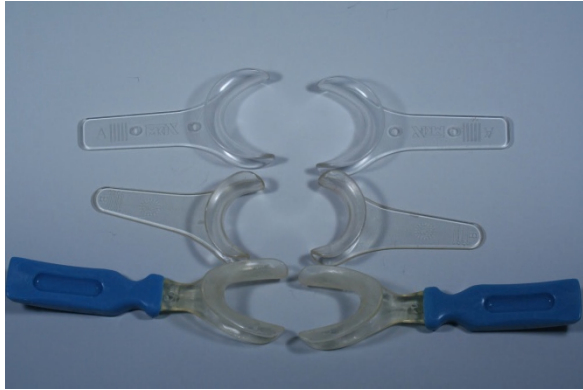
### ⑤接写用レンズ（マクロレンズ／Canon Macro Lens 60 mm）

### ⑥リングフラッシュ（Canon Macro Ring Lite/ MR-14EX）



個人ユースの使い方にこだわる場合は、他に一眼レフのレンズにこだわるのもいいかもしれません。

#### ⑦口角鉤（アングルワイダー／ワイド＆ナロー）



#### ⑧オーラルミラー各種



（口腔内撮影方法に関しましては別 PDF データファイルをダウンロードしてご参考ください。）

これらの準備が整いましたらあとは撮影したデジタル画像を整理整頓していくだけです。

通常、デジカメを購入すると、付属の CD にそのデジカメで撮影した画像を取り込むためのソフトが付属しています。その付属の CD を、お使いのパソコンにセットして、画面の指示どおりにクリックしていくとそのカメラに付属していた画像転送用ソフトが使えるようにセットされます。

この付属ソフトを使うのも良いと思いますが、今回はもう少し機能が良い無料のソフトをご紹介します。転送も整理も兼ねた無料の画像用のソフトです。

今は撮影すると無線接続で指定コンピューターに画像を飛ばすこともできますが、これからご説明する方法は最低限の出費で画像を整理する方法です。



これからご紹介する画像の転送用ソフト、画像の整理用ソフトは無料です。

無料だからといって侮ってはいけません。これが結構使える便利なソフトなのです。

フリーソフトも多く出回っていますが、今回ご紹介のソフトはメジャーなので、かなりのユーザーがいるのではないのでしょうか？

我々が日々撮影したデジタル画像の名前を換えて保存整理するには十分な機能を有しています。

また、このソフトは人物認識の機能も付いており、この機能を利用すると、もっといいアイデアでの画像整理方法もあると思います。

一度お使いになって、機能に不満が出てきたら有料の画像整理ソフトを購入しても遅くはありません。

まずはじめは、無料のソフトを使って試してみる方がいいのではないのでしょうか？

ご使用になられる先生方に Picasa3 による画像整理の方法が、ご診療の一助となることを祈念いたします。

準備ができましたら撮影画像の具体的な整理方法についてご紹介いたします。

### 3. 撮影画像の無料整理用ソフトのダウンロード

#### <Picasa3 (ピカサ3)>



このソフトは Google (グーグル) が提供する画像管理、編集、印刷の無料ソフトです。

グーグルは今や世界の若者が就職したい企業のトップに君臨している IT 会社です。その会社の SE (システムエンジニア) がグーグルのポータルサイトを使ってもらうために作成した優れものの無料ソフトです。

無料といってもとても使いやすく、機能も豊富です。

まず、この無料ソフトをダウンロードしてみてください。

#### ～ ダウンロード方法 ～

##### 手順①



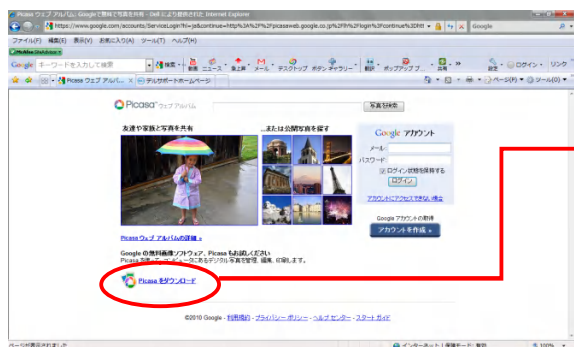
検索エンジンの一つの『Google (グーグル)』のトップページをインターネットで開いてください。

下段に『YouTube』『ニュース』『地図』『画像検索』『乗換案内』などのアイコンがあるのがわかりますでしょうか？

その中に『写真管理』というアイコンがあります。

そのアイコンをクリックすると『Picasa3 (ピカサ3)』がダウンロードできるページに移行します。

##### 手順②

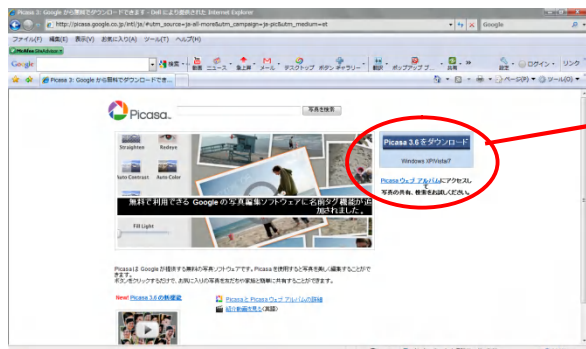


ページ下段左側の



というアイコンをクリックしてください。

##### 手順③



をクリックし、表示手順にそってダウンロードして下さい。

これで『Picasa3』の画像管理ソフトが使用できるようになります。

※『Picasa3』の使用法はダウンロードしたWEBページに詳しく解説されています。

無料のソフトですが結構機能が豊富です。

一度『Picasa3』の使用法をWEB上で確認してみることをお勧めいたします。

#### スタートガイド



### ～ デジカメ接続時のソフト起動の設定 ～

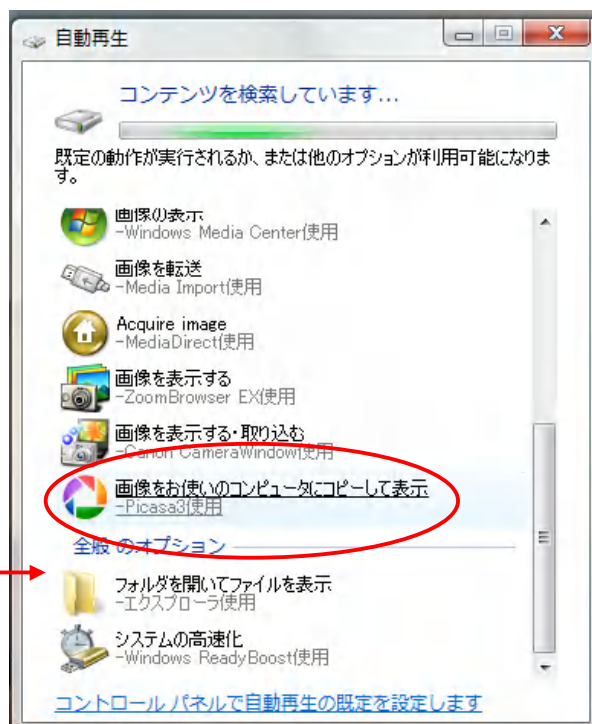
次は、カメラをパソコンに接続したときに自動的に『Picasa3』が起動されるようパソコン側の設定をしておきます。

この設定は簡単です。

#### 手順①

Windows パソコンとデジカメをケーブルでつないでください。

パソコンに右のような画面 (Vista の場合) が表示されますので『Picasa3』使用をクリック



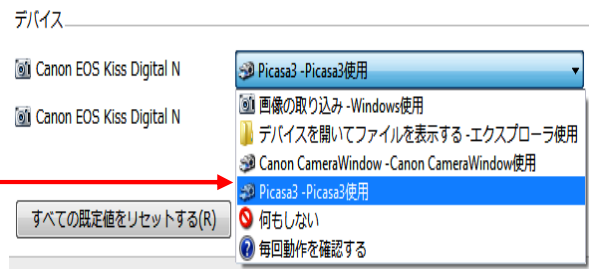
#### 手順②

左のような画面が開きましたら、



『Picasa3』のアイコンをクリックして、カメラを接続したときに常時起動するソフトに設定してください。

この設定によって、デジタルカメラをパソコンに接続した際自動的に『Picasa3』で、デジタルカメラで撮影した画像を読み込んでくれます。



これで準備完了です。

## 4. 撮影画像のインポート

デジカメで写真撮影をしたら次の順番で画像の整理をします。

**I. デジカメからパソコンへ画像の移動**をします。これを画像をインポートするといいます。

**II.** 次に、パソコンにインポートされた**画像に整理し易いように名前**を付けます。この名前を付けることが、後々の画像整理に重要になります。

**III.** 画像に名前を付け終わったら**それぞれのフォルダに格納**します。例えば「山田太郎」フォルダとか「長女成長記録」とか、フォルダ名は何でも大丈夫です。このフォルダは写真を撮りためていくにしたがって容量が大きくなりますので、基本的にパソコン本体のピクチャフォルダよりも、外付けのHD（ハードディスク）に作成保存した方が良いでしょう。

また、大切な画像データを紛失、消失させた時のバックアップとしてデータのコピーを別のHD（ハードディスク）に移し保存しておきます。この操作は定期的に必ず行ってください。

**IV.** ここまで整理ができましたら、後はパワーポイントなどによって、画像をセレクトし、自分なりの講演ストーリー、子供の成長記録ストーリー等の**デジタルスライドを作成**します。

作製したデジタルストーリーはパソコンのドキュメントフォルダに格納整理しておきます。このデジタルストーリー（デジタルスライド）を作成保存して初めて画像の整理ができたことになります。

新たな画像追加、スライド編集も簡単にできます。

これで一連の流れは終了です。

要は、他人に見せられるよう体裁を整え、自分の言いたいこと、見せたい画像等を揃えてはじめて画像を整理した意味が生まれます。

もし、講演や発表等に使用したいのならば、ここからそのストーリーを考え、編集します。聴講者の反応を考えながら発表ストーリーを考えるのはむしろ楽しみです。

毎回同じスライドを使用している大学の準教授、教授の先生方の講演はハッキリ言っつまりません。自分だけわかっている画像やグラフだけでは聴講者は寝てしまいます。研究者としては合格かもしれませんが、プレゼンターとしては不合格という偉い先生方は多くいます。失礼なことを申し上げてお叱りを受けるかもしれませんが、これは個人的な感想ですので笑い飛ばしてください。

それではこれから、当院での**具体的な手順**（Windows Vista の場合）をご紹介します。

I. まずはデジタルカメラで撮影した画像を使用しているパソコンに転送（インポート）します。

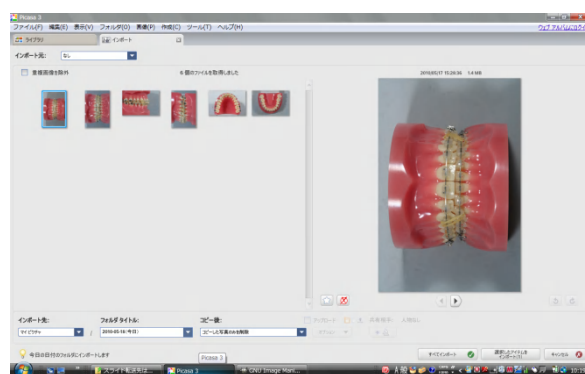
パソコンのUSBポートに、カメラを購入した時に付属していた**接続用USBコードを用いてカメラとパソコンを接続**します。



画像の入力方法にはカメラサイドの記憶メモリをパソコンのメモリ用ポートに差し込む方法もありますが、付属のケーブルで接続してしまうのが一番早いです。

デジタルカメラとパソコンを接続用USBコードで接続すると、カメラ側の画像をパソコンに表示して、その画像を取り込むかどうか聞いてきます。

この時にパソコン側で起動するソフトが画像転送用ソフトです。



ピカサでの表示画面


もし、画像の転送用ソフトがパソコン内に入っていない場合は、デジカメに付属のCDから転送用ソフトをパソコン内にコピーする必要があります。

または、画像整理用ソフトを無料ダウンロードして使うとよいと思います。

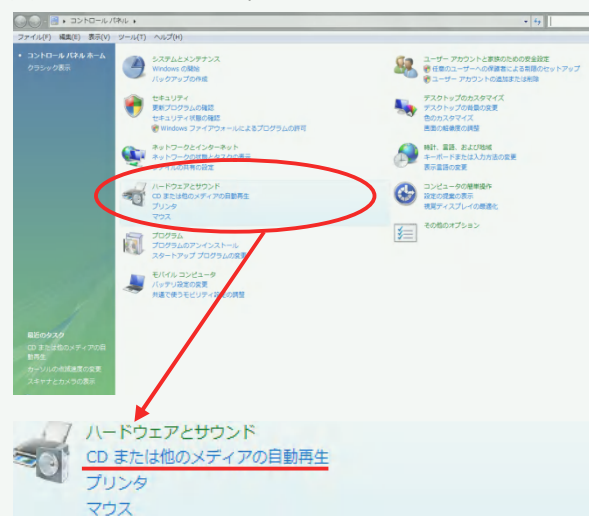
今回は前述の方法で『Picasa3』をダウンロードして使えるよう設定しておいてください。

色々な画像用整理ソフトがパソコン内に存在する場合は、パソコン設定で（コントロールパネルから）どのソフトが起動するかを設定してあげる必要があります。その際も『Picasa3』を選択しておいてください。

## ～画像用整理ソフトの設定方法～

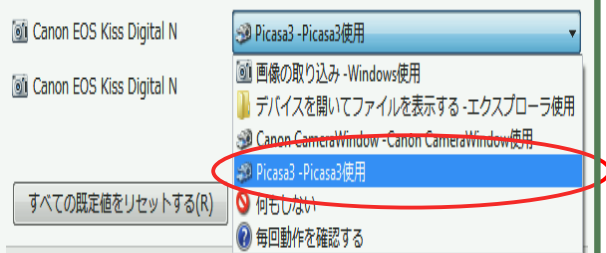
画面左下端にある  スタートボタンをクリックしてメニューバーを表示させたら[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]という項目内の[CD または他のメディアの自動再生]まで順にクリック。

### ※ コントロールパネル



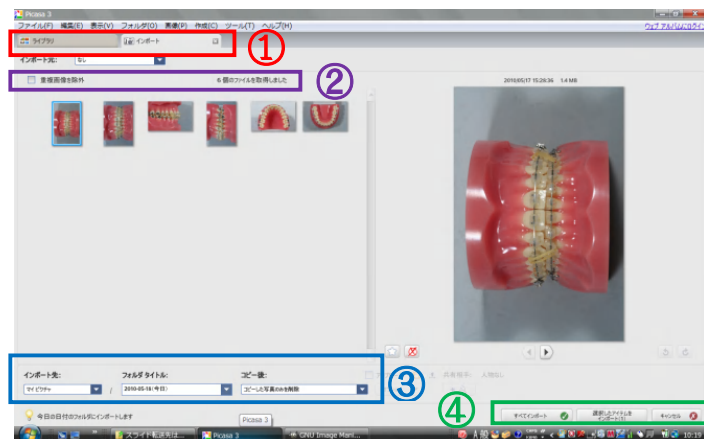
[デバイス]に使用しているデジカメの機種名とそれに関して設定可能な項目が表示されていますので、ここでは[Picasa3 使用]にカーソルを合わせて設定を保存。これで繋いだ時に起動するソフトを『Picasa3』に設定出来ます。

### デバイス



デジカメとパソコンを繋いで『Picasa3』が起動しましたら、まずはデジカメからパソコンへ画像をインポートさせます。

『Picasa3』の場合、ソフトが起動すると下のような画面が表示されます。

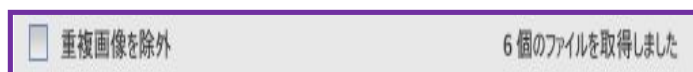


①



ライブラリは画像整理時に使用、デジカメからパソコンへ取り込む際にはインポート画面が表示されます。

②



画像を全てインポートし終わると「〇個のファイルを取得しました」と表示されますので、その表示を確認してからパソコンへ保存します。その際、以前取り込んだ画像がまだデジカメの中に残っている場合には「重複画像を除外」にチェックを入れれば同じ画像はインポートされなくなります。

③

●**インポート先**：パソコン側にある画像保存先のフォルダを指定します。

初期設定では「マイピクチャ」の中の「Picasa」のフォルダが自動的に選択されますが、▽「選択」にカーソルを合わせてクリックするとパソコン内にあるフォルダを自由に選ぶ事が出来ます。当院ではデスクトップに「スライド転送先はこちら」というフォルダを作成してそこに保存するようにしています。（※ツール→オプション→全般「インポートした写真の保存場所」でも設定可能）

●**フォルダタイトル**：画像を収納するフォルダのタイトルを指定します。

初期設定では「撮影日」ごとか「インポートした日（今日）」の名前を付けて自動的にフォルダが（「マイピクチャ」の中の「Picasa」のフォルダ内に）作成されますが、「フォルダタイトルを入力」をクリックしてタイトルを自由に変更する事も出来ます。こまめにインポートする事が可能ならば、個人名など特定の名前を付けるのも良いかもしれません。

●**コピー後**：パソコンに保存した後デジカメ内に残っている画像を消去するかどうか選択します。

初期設定では「コピーした写真のみを削除」となっており、通常はこのままで良いですが、もしデジカメに画像を残しておきたい場合や、反対に保存の如何にかかわらず削除したい場合がありますらそちらを選択します。

④

以上の設定を決定したら「**すべてインポート**」をクリックしてパソコンに保存します。撮影した画像は一旦全てパソコンに保存し後から取捨選択する事をお勧めしますが、インポートする画像をチョイスする場合や、フォルダ名ごとに分けて保存したい場合は「**選択したアイテムをインポート（ ）←内は選択した枚数**」をクリックして下さい。作業を中止したい場合は「**キャンセル**」をクリックします。

画像を取り込み終わると「削除の確認」が表示され、デジカメ側の画像を消去するかどうかの最終確認を問われますので、問題なければ「インポートしたファイルを削除」をクリックして終了させます。



慣れないうちはパソコン側の中に撮影した画像がしっかり入っているのを確認した後にカメラ側の画像を消去した方が良くかもしれませんが、慣れれば画像のインポートと同時にカメラ側の画像を消去して、次の撮影に備えておいた方が便利です。

カメラはデジタルデータ（デジタル写真）の記録のみに使用し、保存、加工はパソコンで行うのが基本です。これを怠ると、たくさんの写真がカメラ側にたまってしまい、後で整理するのが大変になってしまいます。

記録メディアもすぐに一杯になってしまいます。

当医院では日々の忙しい時間の中で撮影した画像は、とりあえずデスクトップ上のフォルダ（フォルダ名は何でも OK。当医院では『スライド転送先はこちら』というタイトルを付けています。）にインポートして、**常にカメラ側のデータは空**にしております。

これは以下の理由のためです。

① こうすることによって、撮影データを素早くパソコンに移し、時間のあるときにゆっくりデータの整理をすることができます。撮影データをパソコンに移すだけなら（枚数にもよりますが）1分程度で終わります。

② もうひとつの理由は、後で撮影データを振り分けることなく整理ができるため、後々の作業効率が上がるためです。これは自分で実際整理をしてみると分かります。

③ また、**撮影データをカメラ側に撮りためない事**も重要です。撮影したい時にカメラ側のメモリがいっぱいになっていると、撮影データを削除するか、撮影データをパソコンに移すか、メモリを交換するかしないと撮影が出来なくなってしまいます。これは結構面倒くさいです。

忙しい時間にストレスなく口腔内撮影を行うには、カメラ側の撮影容量とバッテリー容量にいつも気をつけておかなければなりません。いざ撮影の時に容量一杯、充電不足ではかなりのストレスです。



ここでもうひとつ注意があります。写真撮影する際、**どのくらいの画質で撮影するか**を決めておくことです。

WEB 公開だけの用途ならば最少画質の撮影で十分ですが、**後でポスターや、論文等、大きく引き伸ばして使用する場合には高画質で撮影保存しておく必要があります。**

このへんは、使用カメラの説明書を一度ご覧頂いて、ご自身でカメラ側の設定をしておくことが重要です。最低限、この設定はやっておかなければなりません。

ちなみに、私の使用している Canon EOS Kiss デジタル1眼レフカメラでは、**記録画質 M(ミドルファイン)を常時選択**しています。この記録画素数は 2496×1664（約 415 万）画素で、プリントサイズにすると B5～A4 まで引き伸ばした時でも荒れた状態にならずに綺麗にプリントできる設定です。

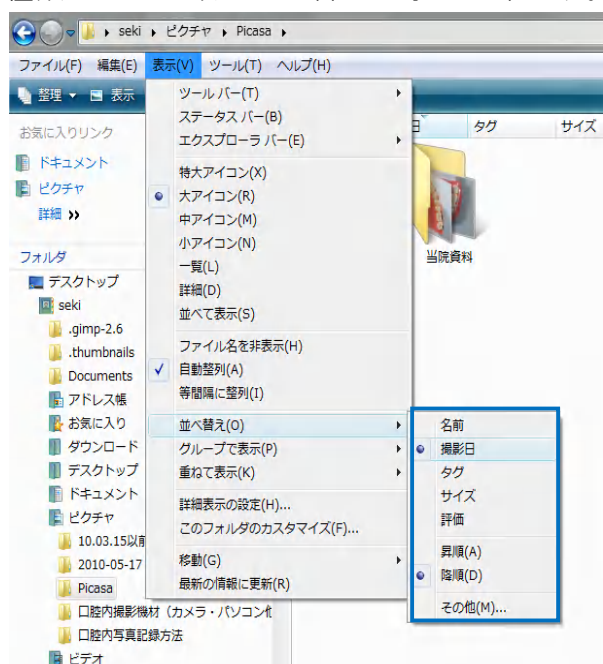
特大のポスターや垂れ幕を作るわけではないのでこの画質で十分です。



## 5. 画像の整理（『Picasa』での整理）

デジカメからパソコンにインポートした画像は通常デジカメ側の通し番号で管理され、撮影日などのデータが添付されていますが、それだけでは不十分なので、画像の名前を自分なりに分かり易く変更して整理しなければなりません。

パソコンでは通常、データの表示方法を名前順や時系列（日付）順、他にもデータの種類やサイズ順に並べ替える事が出来ます。



（表示→並べ替え→の順にクリックして並べ替えたい項目を選択する）

設定さえすればパソコンが自動でやってくれるのですから、デジカメで撮影した画像を撮影日順に並び替える事はとても簡単です。

フォルダにのみ特定のタイトルを付けて、そこに画像を保存すれば、何も画像1枚1枚に名前を付ける必要は無いと思われるかもしれませんが、確かに家族や個人的趣味の範囲内で使用する分にはそれで十分だと思います。

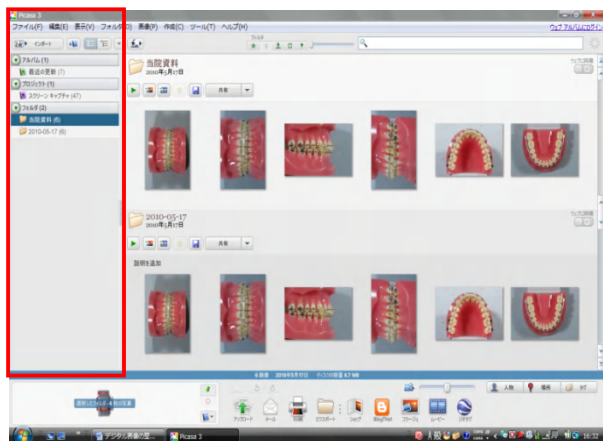
ですが我々が記録しているのはすぐに判別出来る家族や友人達の写真ではなく、日々の記憶に留めておくにはあまりにも多くの患者様の個人情報であり、しかも口腔内という個人を瞬時に特定するには少々厄介な画像なのです。カルテと同様、取り違えたり消去してしまわないよう、細心の注意をもって取り扱わなければなりません。またプレゼン等の医学的資料作成に於いても、画像にタイトルがあった方がピックアップや編集時に便利です。

とは言え、日々の診療の合間に画像を1枚1枚変更していたのでは時間がいくらあっても足りませんよね。そこで『Picasa3』などの画像整理用ソフトの出番となる訳です。

次ページから『Picasa3』で画像の名前を変更する方法を順を追ってご説明致します。

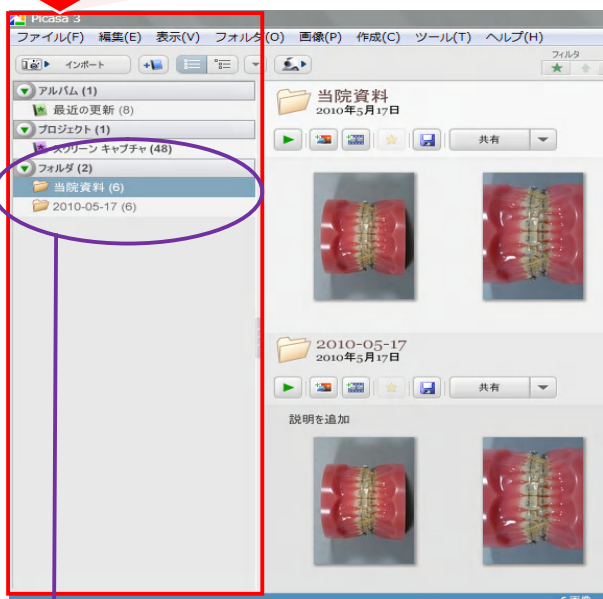


『Picasa3』を開くと下のような**ライブラリ**画面が表示されます。ここでインポートした画像を整理します。これからご紹介する操作方法では、主に**左側のメニュー**を使用します。



拡大

下は**ライブラリ**画面の左側半分ぐらいを拡大した画面です。



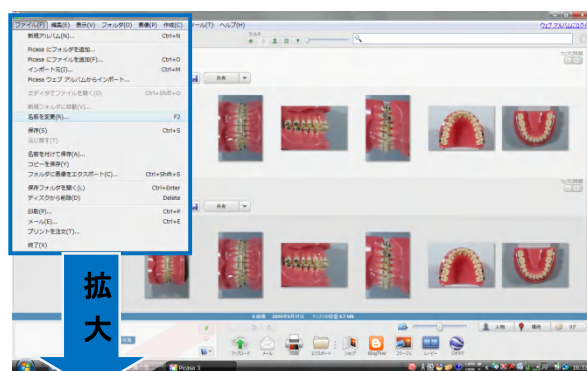
まずは画面左側にあるバーにご注目。拡大するとこんな感じです。



インポートした画像が入っているフォルダは通常[**フォルダ**]という項目に表示されますので、名前を変えたい画像が入っているフォルダを選択してクリックします（ブルーに反転しているのが現在選択しているフォルダになります）。上の画面では「**当院資料（6）** ←（ ）内はフォルダの中の画像枚数」が選択されている状態です。

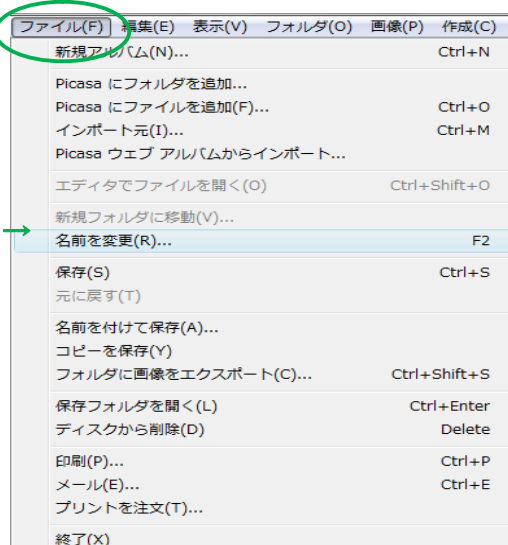
※ここで気を付けて頂きたいのは、右側に表示されているフォルダ内の画像をクリックしないという事です。画像をクリックしてしまうとその画像だけが選択されるので、フォルダ内の画像全てを一括で変更する事が出来なくなります。

フォルダを選択しましたら画面上にあるメニューバーの左端[**ファイル**]という項目をクリックし、開いたメニューから更に「**名前を変更**」を選択してクリックして下さい。

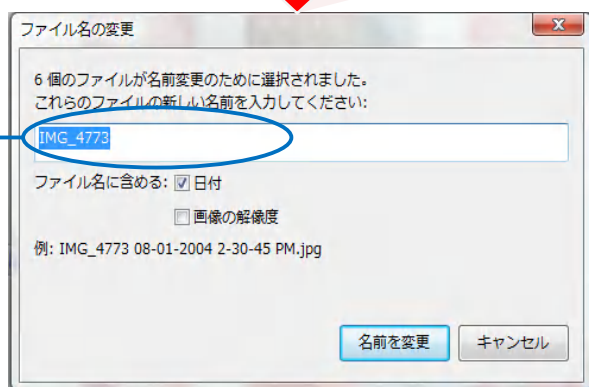
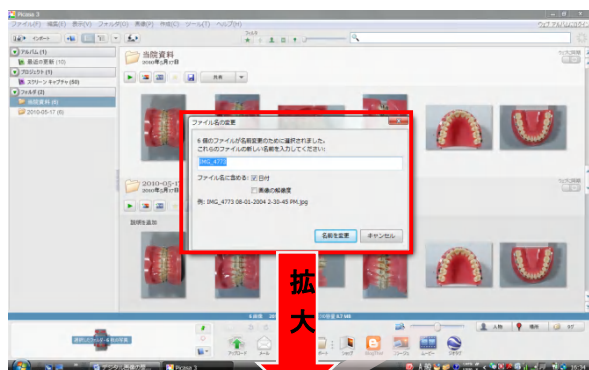


拡大

ココ→



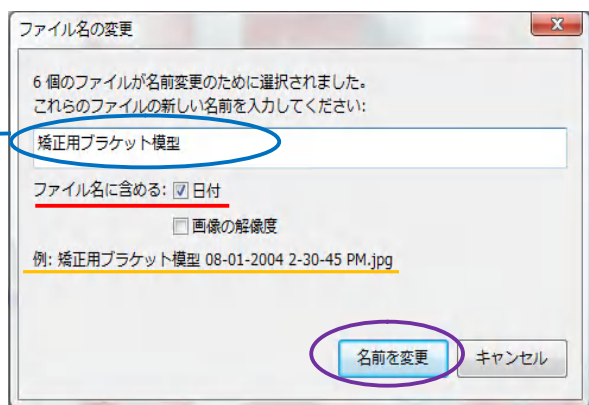
「名前を変更」をクリックすると「ファイル名の変更」という画面が表示されます。



ここで言う「ファイル」とはデータ、つまり画像の事です。ですから6個のファイルというのは6枚の写真の事になりますね。

先程選んだ「**当院資料 (6)**」というフォルダには6枚の画像が入っていましたので、全ての画像が選択されていると分かります。

→ブルーに反転している部分がフォルダ内の先頭にある画像の現在の名前になりますので、必要なければこれを消去し、**新しいファイル名**を入力します。



ここではデジカメで付けられていた名前（通し番号）「IMG\_4773」を消去し、「**矯正用ブラケット模型**」と入力してみます。

名前を入力したら「**ファイル名に含める**」という項目の「**日付**」にチェックを入れます。これで撮影日（秒単位）が名前の後ろに自動的に追加されます。名前があまり長くなっても却って分かりにくくなりますので、「**画像の解像度**」はよほど必要でない限りチェックを外しておいた方が良いでしょう。変更した名前のサンプルが表示されていますので、それを確認してOKなら「**名前を変更**」をクリックし終了させます。

終わったら**フォルダのアイコンをクリック**してフォルダを開いてみましょう。



1回の操作でフォルダ内全ての画像の名前が「**矯正用ブラケット模型 2010-05-17-〇〇-〇〇**（以下〇時〇分〇秒）」と変更されているのが分かります。



※なお、以前に採得した模型やレントゲン等の資料を記録撮影するなど、デジカメの撮影日以外の日付に変更したい場合には「日付」のチェックを外して、名前の後ろに直接必要な日付を入力すればOKです。  
**Picasa**が自動で番号を割り振りますので、複数の画像に同じ名前を付けている状態でも問題はありません。気を付けなくてはいけないのはタイトルをいつも[名前→日付→記号]など同じ並びに決めて整理する事です。パソコンではささいな違いで並び順や検索結果に違いが出ますので、基本的な事です、誤字脱字には注意して下さい。

また、日付順以外に並べ替えたい場合は、**Picasa**の**ライブラリ**画面から画像をドラッグ&ドロップして簡単に画像の移動が出来ますので、並び換えてから「日付」のチェックを外してタイトルを変更して下さい。  
「日付」にチェックを入れてしまうと並び替えた画像がまた撮影日（撮影時間）順に戻ってしまいますので、日付を付けたければ手入力で加えます。

画像のタイトル変更のポイントは次のようにすると良いと思います（一例です）

山田太郎\_2010. 05. 05\_(インプラント LL56)

山田花子\_2010. 05. 12\_(矯正\_class3)

家族旅行\_2010. 05. 25\_(Hawaii)

家族旅行(ハワイ)\_2010. 05. 25

ピアノ発表会（小犬のワルツ）\_2010. 06. 01

紋白高校文化祭\_2010. 10. 10

このように画像にはわかり易い名前を付けます。撮影日時は半角で名前に組み込んでおいたほうが整理しやすいと思います。

そして「山田太郎」「山田花子」「家族旅行」「ピアノ発表会」「紋白高校文化祭」などといったフォルダの中に入れて整理しておくとても便利です。

同じ日時に同じ名前のフォルダが存在するときは『Picasa』での整理画面で「日付」をクリックしておくとも撮影時間順に並べてくれるので超便利です。

この操作によって1枚1枚名前をつける手間が省けます。

このように撮影した画像が整理されていれば、その後の作業はとても簡単です。

研究会の発表に必要な写真を、発表手順や発表時間に合わせて選択し、**パワーポイント**でスライドにしていけばよいだけです。

論文の画像資料もすぐ取り出せます。

子供の運動会や発表会の写真でも、画像の整理がここまでされていれば、ピカサでウェブ公開してお友達に配布...なんてことも簡単にできてしまいます。写真の焼き増しや、CDに焼いて配布なんていう手間もかかりません。

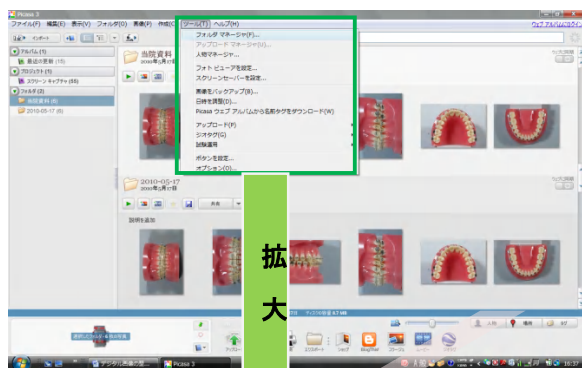
『**Picasa**』はとっても良くできた無料の画像整理のツールです。ただですからこのソフトを使わない手はありません。

後述するパワーポイントなどうまく組み合わせ、先生方にあった使い方をされると効率が格段に向上します。

ぜひ、『**Picasa**』で画像の整理をしてみてください。

次ページでは、知っておくと**Picasa**をより快適に使いこなせる機能もご紹介しておきましょう。

[ツール]をクリックするとメニューバーが開きます。

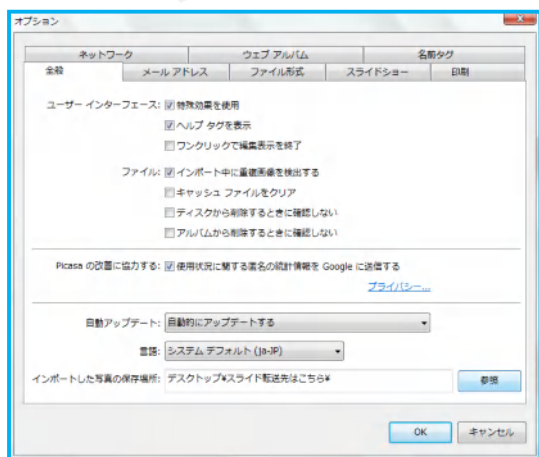


フォルダマネージャ



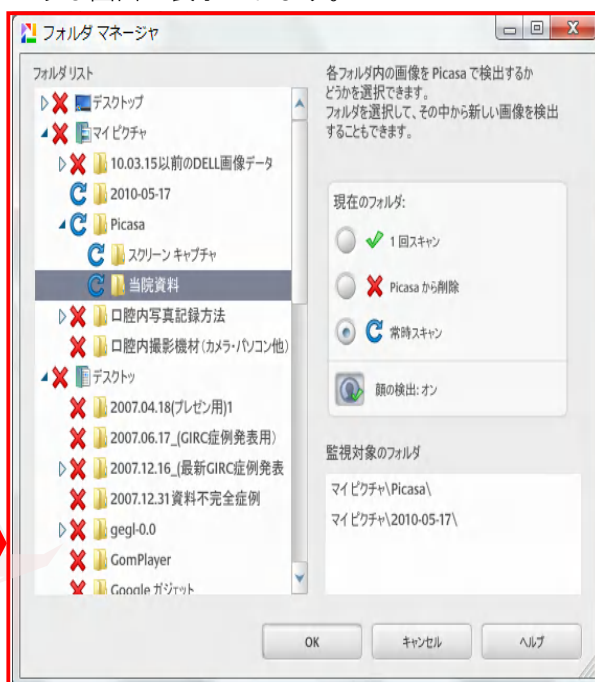
オプション

[オプション]をクリックすると下のような画面が表示されます。



●[オプション]ではPicasaの基本的な設定の変更をまとめて行えます。

[フォルダマネージャ]をクリックすると下のような画面が表示されます。



●[フォルダマネージャ]ではパソコン内のどのフォルダをPicasaで取り込むか指定する事が出来ます。パソコン内にある全ての画像をスキャンしてしまうと膨大な数のフォルダが表示され、肝心の画像を見つけるのが大変になってしまうので、必要なフォルダ以外は「Picasa から削除」しておきましょう（ここでの「削除」はPicasa への表示、編集を無効にするだけで、パソコンからデータが無くなる訳ではありません）。

削除する場合は画面左側の「フォルダリスト」からPicasaで編集する予定のないデータが入っているフォルダを選択し、右側の「Picasa から削除」にチェックを入れます。逆に編集対象のフォルダに対しては「常時スキャン」にチェックを入れます。この設定はいつでも切り替え可能で、上層フォルダだけでなく下層フォルダごとに細かく設定する事も出来ます。

この他にもPicasaには多くの機能が装備されていますので、色々なメニューを開いてみて、ご自身に合う使い方を見付けてみて下さい。



## 6. プレゼン資料等の作成『PowerPoint』

画像がきちんと整理されていれば、学会資料、プレゼン資料、研究会等での発表資料、子供の成長記録、ピアノの上達記録、結婚式などに公開するプライベートスライド、等々を簡単に作成することができます。

自分史作成用のソフトや、成長記録用のアルバム作成ソフト等も安く購入することができますが、この『PowerPoint』があればそれらも簡単に作成できます。

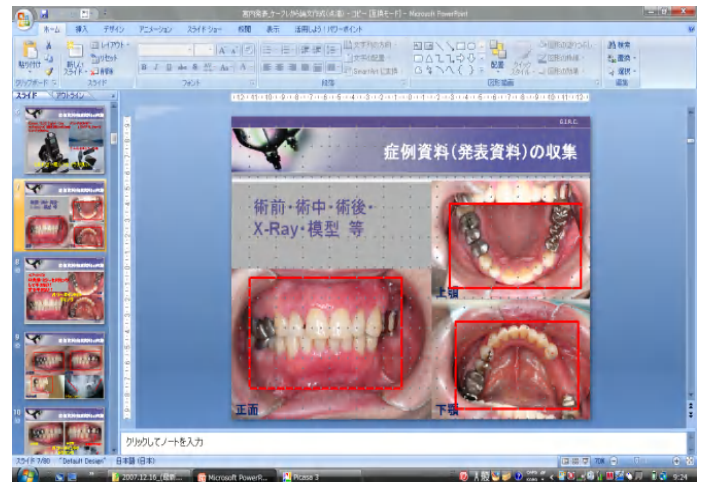
一般的には『PowerPoint』が使えるととても便利です。



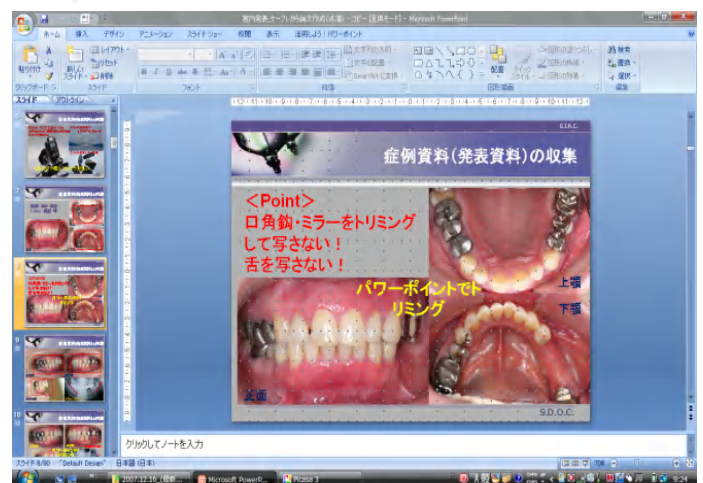
PowerPoint は撮りためた画像の中から講演や発表に合った画像をセレクトし、ストーリーに仕立てるプレゼンソフトです。

なにも発表だけではありません。自分で理解しやすくするために症例を整理するだけでもこのソフトはとても役立ちます。

自分の手がけた症例の反省をするには非常に役立ちます。ぜひ、このソフトを使いこなしていただければと思います。



上は日常撮影したデジタル画像をPowerPointに読み込みレイアウトした画面です。日常撮影したデジタル画像には余分なところも映りこんでしまいます。



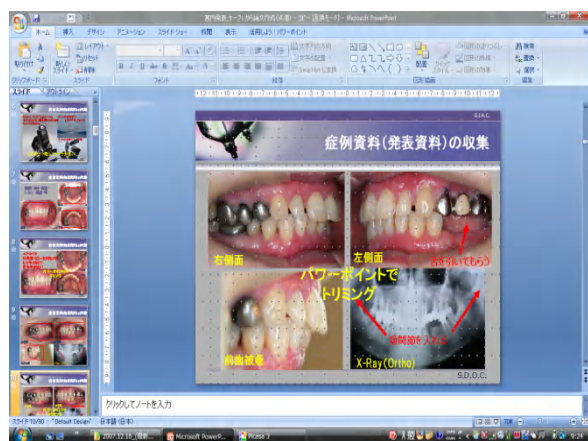
下ではこれをトリミングして再配置する事によって、とても見やすい症例画像に変化させています。

同じスライドでも説得力に違いが出てきます。このトリミングはPowerPointで簡単に出来ます。

もうひとつの例をお見せしましょう。



見たいところ以外を  
トリミングして画面  
から外します。



スライドは見る方の立場に立って作製する  
のです。

最後に名前を換えた画像、PowerPointで整理したスライド等は必ず別のハードディスク（保存専用HD）に保存します。これは必ず行ってください。でないと何かの拍子でデータがクラッシュしたとき復旧できません。長年撮りためた大事なデータや丹精込めたプレゼンスライドが一瞬で水の泡となって消失してしまいます。

これがデジタルデータの弱いところです。泣きを見ない為に、**大切なデータは必ずバックアップを取っておかなければなりません**。この作業はルーティンワークとして定期的におこなっておくことをお勧めいたします。

学会発表や学術研究会等では、  
『PowerPoint』は、もはやなくてはならないプレゼンソフトとなっています。

これらのプレゼンソフトやアルバムソフトを使って、撮りためたデジタル画像（デジタル写真）の中から見えそうな画像を時系列にピックアップしていけば簡単に症例整理ができ、プレゼン資料も簡単に出来上がります。

静止画像のスライドだけではなく、動画の挿入や、音声の挿入、スライド切り替え時のモーション変換も、このPowerPointを使えば簡単です。

自分に与えられた時間にきっちり収まるよう、話の起承転結を考え、伝えたいことをしっかりアピールできるようなプレゼン資料を作成するのです。

研究会等で寝てしまう人が多い講習会は、多分演者のプレゼン力に問題があります。

内容が地味でも、プレゼンは上手という演者のブースには多くの聴講者が集まります。

このプレゼン資料をiPadで発表...なんてことになったら注目度は急上昇です。

内容がイマイチでも、プレゼン力全体で得点を稼げばよいのです。

きちんと整理された画像の資料があれば、説得力のあるわかりやすいプレゼンを行うことが可能です。

そこに、動画や、画像切り替え時のスライドモーションをスパイスとして付け加えます。主役は画像です。

その画像のトリミング（不要な部分のカット等）も **PowerPoint** では簡単です。

スライドを作成するときに見せたい部分だけを拡大すると見栄えのあるプレゼンが可能です。



ただ、そもそもの画像が無ければ説明をしようにもできません。どんな素晴らしい症例も、どんな素敵な思い出も、記録写真がなければ他人に伝えるのはとても困難です。自分の記憶さえ薄れていってしまうのですからなおさらです。

**魅力あるプレゼンは、聴講者を説得する画像の提示ができるかどうか、そして限られた時間で如何に効率よくそしてテンポよくポイントをアピールできるかがすべてだと思います。**

如何に立派な内容でも、発表がヘタクソだったら総合得点は伸びません。

もう一度言います。

**「プレゼンは総合力です。」**

**発表資料の説得性と資料の綺麗さ、洗練されたプレゼン手法等の総合力がプレゼンの成否を決定付けます。**

同じ講演、発表をするなら、会の講演記録に残るよりも会員の記憶に残る発表を目指した方が良いでしょう？聴講者の感動も得られます。

聴講者に眠気を起こさせないプレゼンを行いたい人は、是非とも資料彩得（デジタルカメラ）、資料整理（『Picasa』等）、資料加工（『PowerPoint』等）を一連のルーティンワークとして日々積み重ねることが重要と考えます。

## 満員御礼

せっかくプレゼンするのなら多くの聴講者に聞いてもらいたいものです。

『満員御礼』の盛況なプレゼンにするためには是非今回のデジタル画像の整理方法をご参考にしていただければ幸いです。

もう一言付け加えておきます。

**デジタル画像の整理はプレゼンテーションのために行っているものではありません。**

勿論、学会発表や研究会での発表の機会があれば、この画像整理の方法はとても役立ちます。講演依頼があればテーマを決めて簡単にスライドストーリーの作製が可能です。

ただ、自身の施術した治療症例（矯正治療やインプラント治療）は治療の経過がとても大切です。

「あの時、どう考えて、どのように施術したんだっけ...？」

「今だったらどのような術式を選択するだろうか...？」

など、過去の自分の施術した治療を経時的に観て、反省することが大切です。



より良い今後の治療につなげていくためには、自分の施術した治療と素直に向き合うことがとても大切だと思います。特に、なかなかうまくいかなかった症例、苦勞した症例こそが今後のステップアップにつながります。

長く臨床医をやっていれば、できれば忘れ去りたい症例の2つや3つ、いやもっとあるはずです。

本当は、このためにこそ、『デジタル画像の整理方法』が必要なのです。



## 7. 終わりに...

経済学者のダニエル・カーネマンという人が、経済学と認知科学を統合して行動経済学という分野を確立し、1999年にノーベル経済学賞を受賞いたしました。

内容は難しくて理系出身の私にはよく理解できませんが、クライマックスとエンディングが記憶を作るという『ピーク・エンドの法則』というものを提唱したそうです。（リチャード・セイラー著『セイラー教授の行動経済学入門』参考）

人間の経験の中でピークとエンドの時にどれだけ楽しい盛り上がりが体験できたかで、主観的な記憶は塗り替えられてしまうというものです。

映画を見ると、エンディングが印象的であればその映画は心に残ります。中盤でも印象深いシーンがあればそこだけは記憶に残ります。自分の好きな映画を思い出すと記憶に残っているシーンがクライマックスかエンディングのどちらかだということに気づきませんか？

それを今後の治療の糧（かて）としなければ向上はありません。

デートの時、相手の心に響く優しい一言と、別れ際の優しい雰囲気と行動...これさえできれば相手の心深くに記憶が残るのだそうです。すなわちデートは大成功をおさめるというわけです。

「終わりよければすべてよし...」という言葉もあるでしょう？

プレゼンも、研究発表も、学会発表も、講演も、ストーリーに強弱をつけ、ピークとエンディングに注意して構成すれば、内容にかかわらず意外に大きな効果が期待できます。



プレゼンのストーリーのどこに『ピーク』を持ってくるか？

『ピーク』に相乗効果を持たせる画像素材をマッチングするのです。

## 最後の『エンディング』の落とし所はどうするか？

『エンド』を聴講者と共有できるように話の最後をどうまとめるかを構成するのです。

この、『ピーク』『エンド』をどう組み立てるかで印象が相当違ってくるということです。

この『**ピーク・エンドの法則**』はプレゼン発表者だけに当てはまるものだけではありません。人生の様々な場面で役立ちます。

就活中の学生諸君、婚活中の貴方、ビジネスの最前線で活躍する企業戦士、講義中いつも学生が寝てしまう教授や准教授の方々...

ぜひこの法則を念頭に行動や講義、プレゼンテーションを組み立て直してみてください。

クライマックスとエンディングのストーリーを組み立て直し、盛り上げる素材（画像、資料、デートのお店や雰囲気 等々）を準備し、『**ピーク・エンドの法則**』を実践すれば、かなりの確率で相手に記憶を残すことが可能です。

記憶が残るということはとても大切なことです。

もう一度言います。

「**クライマックスとエンディングが記憶を作るのです。**」

ぜひ、この『**ピーク・エンドの法則**』を今後の診療、学術発表、研究会、また人生にお役立て頂く事を祈念して、あとがきにかえさせていただきます。



関 孝史